

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和57年	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10 適正な維持管理
事務事業名		07 漁業集落排水施設管理運営事業	
根拠法令・例規等		水質汚濁防止法・浄化槽法	
問		担当課(室)	下水道課
合		職・氏名	主幹 文徳 啓次
先		電話	0869-63-2330
このシート作成に要した時間		7.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	日生町頭島、大多府地区で生活する市民及び不特定多数
目的(何のために)	漁業集落の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全の資する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	排水施設の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保ち、漁場の汚染防止に寄与する。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	漁業集落排水施設管理運営事業	頭島浄化センター維持管理業務 汚水処理施設に係る水質管理、汚泥管理、処理施設の適正な運転及び維持管理 大多府浄化センター維持管理業務 汚水処理施設に係る水質管理、汚泥管理、処理施設の適正な運転及び維持管理	○

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	21,817	28,552	22,250
	必要人員(人件費)	千円	0.13	1,263	0.18
	事業費計	千円	23,080	29,831	24,003
	国県支出金	千円			
受益者負担	千円				
繰入金債	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	23,080	29,831	24,003	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	処理水量	説明	流入汚水を浄化し、地先海へ放流する水量		
	結果指標量	事業	65,357	66,975	99,235
	対前年比	%	-	102.5%	148.2%
	活動コスト	円	23,080,203	29,830,513	24,003,827
単位当たりコスト			353	445	242

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
放流水のBOD値 (mg/L)	目標値 (A)	10	10	10	10
	実績値 (B)	11	7	7	到達目標値
	達成率 (B/A)	110.00%	70.00%	70.00%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
浄化槽法で、浄化槽が適正な維持管理により所期の処理機能が確保されているか否かを判定する指標である。生物化学的酸素要求量：水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量。大きいほど汚れが甚だしいことを示す。					

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	C
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	目的達成度	
有効性の評価	市民参画度	C

進行年度 (H22年度) の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	機器運転調査の実施及び運転方法についての協議やタイマーの修繕により、自動運転の機能が回復し、休日においても適正な運転が可能となり、処理水の水質改善が図れた					

総合評価		評価区分 <A~E>
施設の老朽化進行により保守点検について負担が増大してきているが、処理は概ね良好に行われており、引き続き処理機能を十分発揮できるよう計画的に効率的な改善等を行う必要がある。		C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	老朽化した施設の改修等の効率的な方法及び処理方式の変更を含めた施設更新の方法について、引き続き継続して検討する。					

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい